



Q-1 人材の確保とスタッフの連携について

Q 協力者、謝金、業務分担について

- どの活動もすばらしいスタッフを集められていますが、地域の中で協力者を見つける方法を教えてください。
- 放課後子ども教室・えひめ未来塾のボランティアの方々は、全くのボランティアですか？もし、講師等をお願いする立場になれば、お願いしづらい気がするのですが…。
- 各地域の協力者の確保の仕方や、業務の分担範囲について教えてください。(学校も様々なことを抱えていて、負担増の観点からも継続できる仕組みが必要だと感じます。)

A

高津放課後まなび塾

- ・高津放課後まなび塾の学習支援員には毎月報償費をお支払いしています。夏休み学習会の協力者についても協働活動サポーターとして謝金をお支払いしています。
- ・協力者を集める方法としては、保護者には児童に学習会の案内を配付する際に一緒にサポーターへの協力案内を配布しています。地域の方には公民館に協力していただいて読み聞かせなどの活動をされている地域の方に声をかけるなどして協力者を集めています。

にほんご未来塾

- ・未来塾の場合、教員OBが指導員であるので、幼い子どもたちに適した指導ができる熱心な方に直接電話して勧誘しています。

うわじま土曜塾

- ・スタッフ募集の情報を宇和島市のホームページと広報に掲載しています。
- ・地域学校協働本部と連携して協力者を探しています。
- ・教員OBの方が多くですが、塾講師や家庭教師経験者など様々な人材が活躍しています。
- ・研修の実施はもちろん、共通の運営マニュアルを作成し、行政及びサポーターの業務分担や指示系統等を明文化することで全員が業務に関して共通の理解となるよう努めています。

Q 子どもと支援員の割合は？

- 高津放課後学び塾では、8名の支援員が登録していて、ローテーションを組み、1日30~45名の子どもたちを4名の支援員で対応していますが、じっくり教えてあげたい子や話を聞いてあげたい子が多く、手が足りていない状況です。地域性もあると思うのですが、子どもと支援員の割合はどのくらいですか？

A

高津放課後まなび塾

- ・子ども10人に対して1人の支援員で対応するような配置をしています。

にほんご未来塾

・子どもと支援員の割合については、外国籍の子どもたちが対象ですので、マンツーマンが望ましいのですが、子ども2人に対して支援者が1人を原則としています。

うわじま土曜塾

・4名～5名の児童生徒を1人のサポーターが担当できる環境を整備したいのですが、現状は、サポーター1人あたり7名～8名の児童生徒を担当しています。

・サポーター1名あたりの担当児童生徒数が多くなる場合は、学年や学習習熟度や児童生徒間の相性などを考慮して、グループに分けて一斉指導を行ったり、配慮が必要な児童生徒は少人数グループ指導を行ったり、じっくり話す必要がある児童生徒には個別面談を設けるなど、現場の状況に合わせて対応できるよう心掛けています。

Q スタッフ間の連携について

- スタッフが子どもの状況を共有するための工夫点について教えてください。
- スタッフ同士のミーティングの時間をどのようにとっているのですか。

A

高津放課後まなび塾

・その日の子どもの様子で気になったことは、その日の支援員にはもちろんですが、支援員用のノートに記入し、スタッフ全員がすぐに共有・対応できるようにしています。また、学期に1回は必ずスタッフ全員が集まり、気になる子どもの情報共有や今後の対応等を話し合っています。

にほんご未来塾

・基本的に毎回終了後に子どもたちについて情報交換をしていますが、重要な伝達事項がある場合は、始まる1時間前に集まり、連絡、協議を行っています。

うわじま土曜塾

・授業前には、その日の授業の予定を話し合ったり、授業後には、その日の授業のふり返りや児童生徒の様子を話し合ったり、サポーター間で気軽に情報共有ができる時間を設けています。

・月に1時間、教室内でのミーティングを実施しています。ミーティングの際には、子どもの状況やその他必要な事項について情報共有を行っています。

・サポーターが、担当する児童生徒ひとりひとりの日報を作成することとしており、学習態度やその他特記事項についてリーダーに紙媒体で報告することとしています。

Q-2 学習・指導方法について

Q 教え方について

●我が放課後子ども教室では、宿題の内容については、各教師の教え方があるので、大まかな考え方のみを指導しています。事例発表で、学習を教えているところもありましたが、支障はないのでしょうか。教員側の意見も聞きたいです。

A

高津放課後まなび塾

・私たち支援員が子どもの頃に学習した内容と違う部分があったり、学習指導要領の見直しに伴い変更があったりしたこともあったので、教科書や教師用指導書を確認して教えるようにしています。また、子どものノートを見て、授業でどのように教えてもらっているかを確認し、できるだけ教員側と同じような教え方をするようにしています。

にほんご未来塾

・教員 OB が指導者なので、皆さん子どもへの教え方はとても上手く、個々の子どもに適した指導ができています。

うわじま土曜塾

・うわじま土曜塾では、学校の教科書に準拠している教材を用意して、学校で学んだ内容の復習をしています。そのため、学校の先生と教え方が異なり児童生徒が困惑してしまうことがないよう、サポーターは、学校の教科書と教材をきちんと予習して、授業の準備をしっかりと整えた上で指導に当たっています。また、学校からは、「宿題をしてくるようになった。」「うわじま土曜塾で学んだことを学校で楽しそうに話してくれる。」など肯定的な意見もいただきました。

Q 教材の選定、学習の進め方

●学習プリントの選定や、学年ごとの進め方について教えてください。

A

にほんご未来塾

・学習プリントは、様々なものから選定し、その子どもに適した段階のものを使用しています。必要に応じて前学年の復習をさせ、学力に穴がないように指導しています。

うわじま土曜塾

・教材については、選定委員会を開き、教科書準拠のテキストの中から当該年度に実施するテキストを選定しています。

・e トレを契約し、テキストだけではカバーできない内容等を補っています。

・学年ごとの進め方について

【指導体制】学年や学習習熟度や児童生徒間の相性などを考慮して、グループ指導を行っています。

【指導教科】小学生は国語・算数・外国語（英語）・宿題。中学生は、英語・数学・宿題をしています。

児童生徒や保護者の要望により、他の教科（理科・社会など）を学習することもあります。

【学習内容】学校で学んだ内容の復習をしていることから、児童生徒に学習進捗状況を確認しながら、サポーターが学習範囲を決定して、うわじま土曜塾で用意した教材を進めています。当該学年の学習内容を進めることが難しい場合は、前の学年に遡って復習を中心に進めることもあります。

Q 宿題以外に取り組まれている学習があれば教えてください。

A

高津放課後まなび塾

・宿題が早く終わった子どもに対しては、「四国一周プリント」をしたり、問題集をコピーしたりして学習しています。

・「四国一周プリント」とは、新居浜市教育委員会が準備してくれた算数の学習プリントで、1年生の簡単な足し算から始まり、徐々に学年が上がっていきます。そのため、どの段階で子どもがつまづいているかが分かります。1枚のプリントが終わったら採点し、合格したら駅に〇をつけて四国一周をめざすという内容です。

にほんご未来塾

・初めに10分間、国語の教科書の音読練習をして、その後、1人ずつ2～3分間の音読発表をしています。その後、宿題や支援員が用意したプリント（日本語の基礎、計算）学習を行っています。

うわじま土曜塾

- ・塾で購入した教材及びeトシ
- ・宿題以外に取り組んでいる学習

【指導教科】宿題の他に、小学生は国語・算数・外国語（英語）、中学生は、英語・数学をしています。児童生徒や保護者の要望により、他の教科（理科・社会など）を学習することもあります。

【その他】児童生徒やサポーターが豆知識や体験談などのスピーチ等を行うキャリア教育や体験学習も実施しています。

Q 一人で大人数を見るとときに工夫していることがあれば教えてください。

A

高津放課後まなび塾

・1人の子ども（Aさん）に教えている時に他の子の手が上がったら、その子の学力にもよりますが、「この後は計算していてね」とAさんに伝えてから、他の子どもの所へ行き、またAさんの所に戻って様子を見るというようにしています。どうしても学力的にしんどい子どもに対しては1～2問一緒に解き、少しずつ自分の力で解けるように促していきます。その際、周りの子どもの状況が分かるよう、全体を見渡せるような位置で教えるようにしています。

にほんご未来塾

・勉強に限らず、子どもひとりひとりの良いところを褒め、日本語の進歩を褒め、学習に興味を持たせるようにしています。担当する子どもを固定化しているので、子どもとの信頼関係が深まり、落ち着いた学習できています。

うわじま土曜塾

- ・学年や学習習熟度、児童生徒間の相性などを考慮して、グループ指導を行っています。また、児童生徒が学習に集中できるよう、学習がゆっくりな児童生徒は先生の近くに座らせたり、おしゃべりばかりしてしまう児童生徒は少し離して座らせたりするなど、席順も工夫しています。
- ・分からない問題やつまづきやすい問題については、一斉指導をしたほうが効率良く進められるため、なるべく学習範囲を揃えています。

Q-3 今後の課題について

Q 学びと心の居場所として、どの活動もすばらしい成果をあげていらっしゃいますが、問題点や反省点はありますか。

高津放課後まなび塾

- ・1人の支援員が10人の子どもをみるような割合になっていますので、もう少し関わってあげたい子どもに、じっくり付き添ってあげられないのが現状です。子どもは、宿題をしながらもいろいろ話を聞いてもらいたいと思っているのですが、そこまで関わることができなくて申し訳ない思いもあります。宿題を仕上げることに重点を置きつつ、少しでも子どもと関わっていけるようにしていきたいと思っています。

にほんご未来塾

- ・週に1回2時間程度なので、子どもたちへの指導の成果が上がりにくいという現状があります。
- ・個々の子どもの課題について、小学校と連携を図っていますが、まだ具体的なところは模索中です。

うわじま土曜塾

- ・年々、支援員を必要とする子どもや特別支援学級に在籍する子どもの受入れ数が増加しており、配慮を必要とする子どもたちを指導できるスタッフが確保できておりません。

Q-4 その他（1）

Q 外部講師の選び方について

うわじま土曜塾

・地域の方に優先的に声掛けしてきましたが、ネタ切れの状態です。現在は、主にえひめ学校・地域教育サポーター企業を活用しています。

Q みなさんのストレス解消法を教えてください。

A

高津放課後まなび塾

・好きなこと（運動や読書）をしたり、おしゃべりをしたり、寝たり・・・などです。

うわじま土曜塾

- ・美味しく食べて、楽しく吞んで、ぐっすり寝ます。
- ・好きな芸人さんのコントを見て、のたうち回るくらい笑います。

Q-5 その他（2）

Q 県教育委員会作成の学習シートとは、どのようなものでしょうか？

A

愛媛県教育委員会（愛媛県総合教育センター）が、愛媛の小中学校の児童・生徒の学習を応援するために作成した学習シートです。えひめ学習応援サイトからダウンロードして使うことができます。解答が付いていますので、予習・復習の際に、子どもたちのペースに合わせて活用してください。また、シートに関連したNHK for school の動画も紹介されています。

「えひめ学習応援サイト」 https://center.esnet.ed.jp/ouen_2/



研修会の御視聴及び多くの質問事項をいただき、ありがとうございました。
今後も御質問等がありましたら、県教育委員会事務局社会教育課まで、お問い合わせください。

